

平成26年度 津山市立北陵中学校

改善プラン「平成26年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況(12月)

	学校の取組・改善方法 <small>(課題に対する改善方法)</small>	進捗状況 <small>(学期末時点)</small>	3学期及び来年度へ向けて <small>(具体的な達成目標や数値目標等)</small>
	<p>活用型の授業改善を進め、すべての教師が活用型授業実践を考え、1回以上公開する。</p>	A	<p>2学期末までに授業研究会を2回実施し、3学期に授業公開する教員以外は、活用型授業を目指して学習指導案を作成し、公開授業をおこなった。第2回では大阪教育大学木原俊行先生にも来校いただき、協議もおこなった。3学期は2月に実施し、研修でまとめをしたい。</p>
	<p>各教科の授業の中で言語活動(書く活動)を必ず取り入れる。また、話すこと・聞くことの課題も見えており、各教科や学級経営で話すこと(発表)の工夫を行い、発表の機会を増やしていく。</p>	B	<p>言語活動を取り入れた授業実践の必要性は教員に浸透しつつあり、「適一滴ノート」の活用(国語)やレポート作成(各教科)の機会を意図的に用意している。一方で、発表を工夫し豊かな表現活動につなげるまでには至っていない。</p>
	<p>家庭学習の効果的な提示の仕方を考え、ドリル型(基礎基本)および探求型(活用型)の家庭学習を各教科でバランスよく与える。さらに、自主的、計画的に家庭学習が進められるよう、各学年や学級で工夫した取り組みを行う。</p>	B	<p>家庭学習の現状について、外部機関と連携し、全学年で本格的なアンケート調査を実施・分析した。また、家庭学習の進め方について「手引き」を作成し、全校生徒に配布した。自主的・計画的な学習を進めることが課題であり、そのための手立てを今後実施していく予定である。</p> <p>ドリル型(基礎基本)および探求型(活用型)の家庭学習に向け、豊富なデータから必要に応じて活用できるよう、ソフト(東京書籍)を導入し、利用に向け研究に取り組んでいる。</p>

進捗状況・・・「S：目標を大きく上回った(100%を超えている)」「A：目標を十分達成できた(85%以上 100%未満)」「B：目標を概ね達成できた(70%以上 85%未満)」「C：目標をある程度達成できた(50%以上 70%未満)」「D：目標をあまり達成できなかった(30%以上 50%未満)」「E：目標を達成できなかった(30%未満)」